

第20回(平成29年度)

七十七
ニュービジネス
助成金

理研食品株式会社



代表取締役社長
渡辺 博信氏

●企業の概要

企業名：理研食品株式会社

代表者：代表取締役社長 渡辺 博信

住所：東京都千代田区三崎町二丁目9-18

設立年：昭和39年

業種：食品製造業

資本金：80百万円

従業員数：245名

●事業の概要

昭和39年に、理化学研究所をルーツとする理研ビタミン株式会社の子会社として設立、多賀城市の本社工場を中心に海藻および関連食品の研究開発・製造を行う。養殖ワカメの優良種苗の開発と生産技術の確立に取り組み、平成29年名取市に新設した生産・研究施設を拠点とし、国内産養殖ワカメの生産性向上を図る。

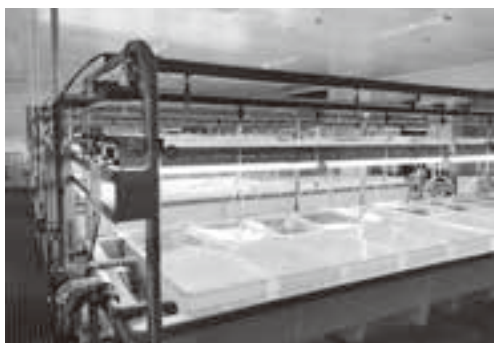


本社 (TDCビル)

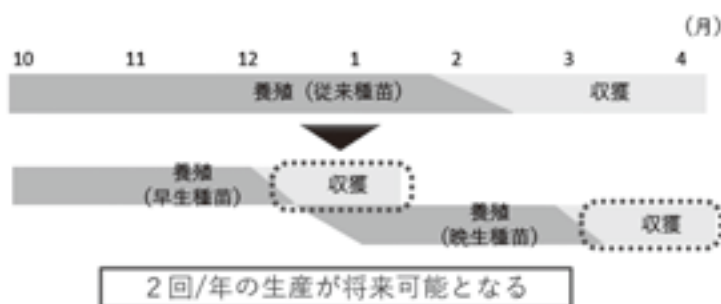


本社工場 (多賀城)

ワカメ種苗の優良品種開発および安定的な生産技術の確立で、三陸の養殖ワカメ産業の生産性向上を目指す



ワカメ種苗生産設備



早生種苗と晩生種苗の併用による二期作



平成29年に新設した「ゆりあげファクトリー」



●受賞の理由

現在日本で収穫されるワカメのほとんどは養殖で、その生産量は三陸地域が全国の約7割を占めるが、平成28年現在でも数量は東日本大震災前の8割程度に留まっている。一方、食品の安心・安全や健康志向から国内産ワカメの需要は高まっており、養殖漁業者にとって生産性の向上が課題である。元となるワカメ種苗は海中または陸上の開放系施設で生産されるが、海水温の変化や台風などにより安定的な生産ができなかった。また重労働である養殖ワカメの収穫は2～4月に集中しており、震災後特に漁業者の高齢化・人手不足が顕著な現状で、生産量を増やすことは難しい。

そのため当社は新しい優良種苗の生産によりワカメ養殖の生産性向上を目指した。

まずワカメ種苗の研究・開発にあたり、養殖場である海中の環境を再現できる水槽を世界で初めて開発した。多くのワカメを同じ環境で養育することで、環境的要因ではなく遺伝的要因による成長の違いを観察できるようになり、高生長や早生・晩生といった特長を持った個体の選抜に成功。これにより、高生長系統の種苗を活用した生産量の増大や、早生・晩生系統の種苗を活用した二期作を可能にした。

また大手電機メーカーとの共同研究により、水温・光など生育環境のパラメータに応じた生長状態を測定しワカメ種苗生産の最適条件を解明、この条件下で種苗の発芽率100%を実現した。この種苗を用いた養殖は生産量・品質とも高評価であり、今後養殖ワカメの生産量増大および安定化への貢献が期待される。

陸上の種苗研究・生産施設として平成29年に「ゆりあげファクトリー」を名取市閑上に新設、三陸ワカメ総生産量の10%相当のワカメ種苗の生産が可能となる。

養殖ワカメ生産者の課題に研究開発の視点から取り組んだ本事業の実用性・有効性は極めて高く、国内養殖ワカメの生産性向上と消費者ニーズに対する貢献は大きい。当社は今後も海藻関連の新しい分野で更なる飛躍が期待される企業である。